

## 7 長野県の特徴は？

長

さて、これから長野県の社会全体で「こどもの権利を守り」、一人でも多くのこどもが幸せに育っていくための具体的な取組を考えていくわけですが、その前に、あと二つのことについてお話しさせてください

C

何ですか？

長

長野県の新しい計画として、こうした取組を考える前に

- 長野県はどのようなところか(長野県の特徴)
- 新しい計画を考えるためにアンケートをしたことについてお話ししておきたいのです

里

今の計画でも「長野県の特徴＝強み」が書かれていますね

長

さすがによくご存じですね  
そこで、まずは「長野県はどのようなところか(長野県の特徴)」についてお話ししていきたいと思います

市

今の計画でも

- ① こどもや家庭を支援するための知識や経験を多く持っている施設が多い
- ② 住民にとって身近な市町村の数が多い

といった特徴(強み)を挙げていますね

平

それは、新しい計画でも同じように考えるということですか？

## 7-1 長野県の特徴について

新しい計画の具体的な内容に入る前に、現在の計画でも整理しましたが、長野県の特徴を改めて整理していきます。

現在の計画では、長野県の特徴＝強みとして2つものを挙げています。

- ① 高度な専門性と機能を有する児童養護施設が数多く存在する
- ② 住民にとって最も身近な行政機関である市町村数が多い

「こどもの権利を守る」という目標に向けて、「家庭養育優先原則」と「パーマネンシー保障」を計画の理念としたところですが、これらはまだ抽象的なものです。

具体的な取組がなければ、こうした理念や目標は実現できません。

他方で、これらを長野県で実現していくための具体的な取組を考えるに当たっては、長野県の特徴を踏まえた上で検討する必要があります。

そのため、目標や理念を着実に実現していくための取組を考えていく前に、ここで、長野県の特徴を確認しておくこととします。

今回の新しい計画では、現在の計画も踏まえながら、以下の3つの特徴を考えています。

- ① 専門的な経験やノウハウを持つ乳児院・児童養護施設が多い
- ② 住民にとって最も身近な行政機関である市町村数が多い
- ③ 広い領域のなかで、地域ごとに風土に根ざしたつながりがある

**長**

まずは、そのように考えていきたいと思っています

**A**

具体的にはどうということですか？

**長**

まず、①についてですが、例えば、長野県内には「乳児院」が4施設、「児童養護施設」が14施設あります

**施**

そこでは、家庭で十分な養育を受けられない(育てられない)子どもや虐待を受けた子どもを育て、家族の相談にも乗ったりしています

**長**

こうした施設が長野県には多くあります

**施**

長野県は、同じような人口の県と比べても多いと思います

**長**

こうした施設の多くは昭和20年代に作られたものが多く、それぞれ時代も変わっていく中で、難しい問題を抱えた子どもやその家庭をサポートしました

**学**

施設には、これまでの子どもや家庭へのサポートの積み重ねから得られた専門的な知識や経験(専門性)を持つスタッフがいますと考えています

**長**

そして、こうした施設が持っている知識や経験などを、これから考える取組の中でも活かせるようにしていきたいと考えているところです

**施**

もう一つの特徴は、市町村の数が多いということですね

**7-2 長野県の特徴① 一専門的な経験やノウハウを持つ乳児院・児童養護施設が多い**

長野県には児童養護施設が14施設あります。

現在の長野県の人口はおよそ200万人ですが、人口200万人前後の他の県と比較しても、乳児院や児童養護施設の数が多いといえます。

【図表 7-1:人口200万人前後の県における乳児院の設置状況等】

都道府県	人口(R5.10)	R3 施設数	R3 定員数(人)
宮城県	2,264千人	2	85
福島県	1,767千人	1	40
栃木県	1,897千人	3	109
群馬県	1,902千人	3	50
新潟県	2,126千人	2	42
長野県	2,004千人	4	55
岐阜県	1,931千人	2	35
三重県	1,727千人	3	45
岡山県	1,847千人	1	35
熊本県	1,709千人	3	60

【図表 7-2:人口200万人前後の県における児童養護施設の設置状況等】

都道府県	人口(R5.10)	R3 施設数	R3 定員数(人)
宮城県	2,264千人	5	374
福島県	1,767千人	8	353
栃木県	2,126千人	11	482
群馬県	1,897千人	8	339
新潟県	1,902千人	5	212
長野県	2,004千人	14	537
岐阜県	1,931千人	10	480
三重県	1,727千人	12	410
岡山県	1,847千人	11	585
熊本県	1,709千人	12	602

乳児院は県内4地域(北信・東信・中信・南信)に1か所ずつ設置されており、他県と比べると数としては多く、児童養護施設も地域ごとに施設の数に偏りがありますが、他県と比べると、施設数が多いといえます。

これらの施設は、その多くが昭和20年代に設置され、これまで時代の変化の中で、社会的養護が必要な子どもを養育し、その家族をサポートしてきた長い専門的な経験と積み重ねてきたノウハウを持っていると考えられます。

市

県内には、19 の市と 58 の町村をあわせて 77 の市町村があります

町

市町村数が最も多い都道府県は北海道(179 市町村)ですが  
長野県はその次に多いのです

長

その分、市役所や役場が住民の身近にあると考えています

弁

市役所や役場が住民の身近にあることのメリットは、虐待などの困難を抱えた子どもや家庭を早く見つけて、そうした子どもや家庭に必要なサポートに早くつなげていけるということでしょうか？

長

そのように考えています

里

そうならいけば良いですね

町

でも、市町村の数が多い分、小さい(人口が少なく、役場職員の数も少ない)町や村も多いので、市町村だけで十分なサポートができないのではないかと考えています

弁

小さい町や村では、役場と住民の距離がとて近くて、そのことで、逆に困難を抱えた子どもや家庭が相談しにくいということもあるようです

長

確かに、小さな町や村が多いことは、良い面もありますが、今言ってもらったような課題となる面もあって、  
特に、小さな町や村の職員を専門的にサポートしたり、一緒になって問題を抱えた子どもや家庭をサポートできるような仕組みを考えていくことも大切だと考えています

他方、新しい計画においては、「こどもの権利を守る」という目標のもと、「家庭養育優先原則」と「パーマネンシー保障」の基本的な考え方(計画の理念)を踏まえた、地域で生活する子どもやその家庭をサポートする取組や、養子縁組・里親家庭における養育を支える取組をこれまで以上に充実・強化していく必要があります。

こうした地域における子ども・家庭へのサポートや里親等へのサポートの取組は市町村や児童相談所等の行政機関だけでは不十分です。

こうしたことから、新しい計画においては、子どもや家庭などをサポートする体制づくりにおいて、乳児院や児童養護施設が持つ、専門的な経験や技術を積極的に活用することが必要と考えています。

用語解説	児童養護施設
	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童福祉法に基づく施設の一つ(第 41 条)</li> <li>保護者のいない子どもや、虐待などで保護者に育てさせることが適切でない子どもに生活の場を与えて、社会的に自立できるようにサポートし、育てていくための施設</li> <li>上記のような子どもをこうした施設に入れるかどうかは、児童福祉法に基づき、都道府県が決める(措置する)こととなっている</li> </ul>

用語解説	乳児院
	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童福祉法に基づく施設の一つ(第 37 条)</li> <li>乳児(1歳未満の子ども)、例外として幼児(1歳以上から小学校入学前までの子ども)を育てるための施設。また、退所した後の相談などのサポートも行う。</li> <li>子どもを乳児院に入れるかどうかについても、児童福祉法に基づき、都道府県が決める(措置する)こととなっている</li> </ul>

町

そうしてもらえると良いと思います

施

そうしていきたいですね

長

ところで、新しい計画では、もう一つ特色を加えたいと考えています

弁

そうなんですか？

P

それは、何ですか？

長

3つ目の特色として考えていることは、

③ 広い県のなかで、自然環境や文化などに基づいた、地域やエリアごとのつながりがある  
というものです

里

長野県は、全国でも4番目に面積が広い県でしたね

長

こうした広い県のなかに山や盆地などがあって、こうした自然環境の条件の中で文化的なエリアや地域が分かれていて、それぞれのエリアや地域ごとのつながりが作られています

市

例えば、4つのエリア(北信・東信・中信・南信)ですね

長

そうですね

弁

10 地域(10 広域)というものもありますね

### 7-3 長野県の特徴② -住民にとって最も身近な行政機関である市町村数が多い-

現在、長野県には 77 の市町村(19 市・23 町・35 村)があります。  
市町村の数でいえば、長野県は北海道(179 市町村)の次に市町村の数が多い県です。

行政機関には、国の省庁や県庁などもありますが、市役所や町・村役場は、住民の皆さんにとって最も身近な行政機関といえます。

こうした身近な住民サービスを提供する市役所、町・村役場が数多くあることは、特に困難を抱えた子どもや家庭をサポートしていくに当たっては、サポートの窓口が近くにあることで、こうしたケースを把握しやすく、早期に様々なサポートを提供しやすい環境であるともいえます。

こうしたことから、新しい計画においても、身近な住民サービスを提供する市役所、町・村役場が数多くあることを活かした、子どもや家庭へのきめ細やかなサポートにつながるような取組を盛り込むこととしています。

他方で、特に町村については小規模な自治体が多く、サービスメニューの充実や専門的な人材の確保等に課題を持つことが少なくないと考えています。

また、保護者の中には、身近であるがゆえに、自分の住む町村からのサポートを受けることをためらう方もいるようです。

このように、身近な住民サービスを提供する市役所、町・村役場が数多くあることは、子どもや家庭の支援においてメリットがあります。

他方で、サービスメニューの充実や専門人材の確保等に課題を抱えている小規模自治体もあることから、市町村のバックアップや、地域における子どもや家庭をサポートする専門的な窓口づくりなどの取組を合わせて盛り込む必要があると考えています。

長

はい  
県のなかには、こうしたエリアや地域が分かれていて、それぞれのエリア  
や地域の中で、風土に根ざしたつながりがあります

長

そして、新しい計画での取組を考えていくときには  
こうした地域ごとのつながりも考えながら決めていきたいと思っていま  
す

学

問題を抱えた子どもや家庭をサポートしていくときも、できるだけ地域の  
中で解決できるように考えていきたいということですね？

P

私は、大きくなってから、住んでいたところから離れた地域にある施設に  
入りましたが、それでも、はじめは道もわからず、不安で大変だったこと  
を覚えています

Q

たしかに、子どもにとっては、できるだけ、いま生活している地域のなか  
でサポートしてあげて解決できるようにすることが大切だと思います

長

ありがとうございます  
私も、そのように考えているところです

施

さて、そろそろ、今回の新しい計画で考えている「長野県の特徴」を整理  
しませんか？

長

そうですね  
今日お話ししてきた「長野県の特徴」をまとめると次のようになります

#### 7-4 長野県の特徴③ ー広い県域のなかで、風土に根ざした地域ごとのつながりがあるー

長野県は、全国で4番目に広い面積(13,561.56km<sup>2</sup>)があり、南北で約212km、東西で約120km  
の広さがあります。

その約85%が山地となっていて、残りの約15%の中に約50の盆地や谷底平野などが形成されてい  
ます。

こうした地理的な背景から、県内の各地域では風土に根ざした主に2種類の生活圏が形成されていま  
す

一つは、県内を4つのエリアに分けたもので、「北信・東信・中信・南信」という名称で住民の皆さんに親  
しまれているものです。

もう一つは、県内を10の地域に分けたものです(佐久・上田・諏訪・上伊那・南信州・木曾・松本・北ア  
ルプス・長野・北信の10地域)。

長野県では、この10の地域ごとに地域振興局を置き、地域における県行政の総合的と推進と地域  
の振興を図っています。

また、この10の地域には広域連合も置かれており、市町村の事務の共同化や広域的な観光振興を行  
うことなどによって、地域内の市町村どうしが連携し、総合的・効率的な行政運営が進められています。

この計画の基本的な考え方(計画の理念)である、「家庭養育優先原則」や「パーマネンシー保障」を  
実現していくためには、子どもと家庭をできる限り身近な地域でサポートすることが重要と考えます。

子どもが家庭で生活することが難しい場合であっても、子どもの成長において継続性や連続性が重  
要な要素となることに配慮して、子どもの空間的・時間的な「つながり」を確保していくことを考える必  
要があります。したがって、こうした場合も、特別な場合を除き、できるだけ地域のなかでサポートが行  
われるよう考えていく必要があります。

こうしたことから、この計画における取組については、こうした地域ごとのつながりも考慮して検討し  
ていくことになりますが、この計画による取組を具体的に進めていくに当たっては、それぞれの地域に  
おいて、具体的な取組を考え、実施していくことを期待しており、県としてもそのためのサポートを進め  
ていきたいと考えています。

- ① こどもや家庭を支援するための知識や経験を多く持っている施設が多い
- ② 住民にとって身近な市町村の数が多い
- ③ 広い県のなかで、自然環境や文化などに基づいた、地域やエリアごとのつながりがある

長

新しい計画では、こうした長野県が持つ特色を活かした計画にしていきたいと考えていますので、よろしくお願いします

【図表 7-3:長野県の4つのエリア・10の地域】

